

2021. 11/18(木) 朝刊 山形新聞

布製おしぼりの安心
マークで「見える化」

山形のティーオーシー

布製おしぼりレンタル業
のティーオーシー（山形市、
後藤孝一社長）は、厚生労働省の基準に沿って衛生処理した「素手美人」のレンタルサービスを開始した。

1985（昭和60）年創業で東日本おしぼり協同

組合に加盟する同社は、県内全域の飲食業や宿泊業におしぼりを提供している。従来、洗浄や消毒を徹底した衛生管理で布製おしぼりを提供してきた一方、新型コロナウイルス下で



ティーオーシーが提供する
布製おしぼり「素手美人」

「布製おしぼりを使うのは不安」という一部利用者の声を踏まえ、日常の作業の「見える化」が必要と判断した。

山形市売上増進支援センターYorbizの協力を得て、厚生省基準を満たしていることを示すマークを外袋に印字。ネーミングとデザインは柔らかさにこだわった。宿泊業や飲食店にさまざまなコロナ対策が導入される中、同社は「微力ながら取引先の感染対策の力になりたい」としている。

（稲村裕介）

紙面編集・落合 慶

感謝